

れきはく

No.114

2015.7.15



夏季特別展 リニューアルオープン記念・北陸新幹線金沢開業記念

大鉄道展

開業当日の北陸新幹線

■開催期間 平成27年 7月18日(土)～8月23日(日) 会期中無休

■開館時間 午前9時～午後5時(展示室への入室は午後4時30分まで)

■観覧料

特別展 一般1,000円(800円) 大学生800円(640円) 小・中・高生300円(240円) ※()内は団体料金、20名以上

常設展 一般300円(240円) 大学生240円(190円) 高校生以下無料 ※()内は団体料金、20名以上

特別展・常設展セット料金 一般1,040円 大学生830円

- 主催/石川県立歴史博物館 ●共催/北國新聞社 ●企画/東映株式会社 ●企画コーディネイト/米山 淳一 ●協力/JR西日本
- 展示協力/星 溢子 花上 嘉成 関田 克孝 二階堂 行宣 川島 教昭 中野 英則 倉繁 聡 鈴木 康太郎 (有)モデルシーダー 杉本 憲一 名取 紀之 鈴木 洋 長浜鉄道スクエア
- 後援/北陸放送 テレビ金沢 エフエム石川 ラジオかなざわ ラジオこまつ ラジオななお 金沢ケーブルテレビネット

関連行事

講演会

- 日時** ①7月19日(日) 午後1時30分～ 1時間30分程度
「光り輝く新幹線の時代」
講師 米山 淳一氏(「大鉄道展」企画プロデューサー)
- ②8月1日(土) 午後1時30分～ 1時間程度
「12泊13日の江戸から2時間半の東京へ」
講師 谷口 昭夫氏(元JR西日本 金沢駅長)

会場 いずれもワークショップルーム
※ 聴講無料 事前申込不要 先着80名

展示解説

- 日時** ①7月18日(土) 午前10時～ 1時間程度
講師 米山 淳一氏
- ②8月8日(土) 午後1時30分～ 1時間程度
講師 当館学芸員
- 会場** いずれも特別展会場
※ 要観覧料 事前申込不要

夏季特別展

リニューアルオープン記念・北陸新幹線金沢開業記念

大鉄道展

1、なぜ北陸で新幹線をメインテーマにした大鉄道展？

本年、二〇一五（平成二十七年）年三月十四日に開業した北陸新幹線は首都圏と金沢をわずか二時間三〇分余りで結び、地域経済や文化の発展に大いに期待されています。

北陸の都市・金沢を中心とした北陸本線の歴史は古く、明治時代にさかのぼります。一八八二（明治十五）年に長浜―柳ヶ瀬の開業に端を発した北陸本線は、敦賀、福井を経て一八九八（明治三十一年）年には金沢に到達しています。翌年には富山駅が開業し、関西方面と鉄道でつながります。その一一七年を数える足跡はまさに地域発展の礎です。



北陸新幹線開業の日の金沢駅

さらに昨年、東海道新幹線が五十周年を迎えました。この新幹線を支えたシステムに、国鉄の「交流電化プロジェクト」があります。高速で運行する新幹線には、それまでの電車とは比べものにならない電力が必要であり、それを支えたのが交流電化プロジェクトでした。そしてこのプロジェクトは、仙山線（仙台―作並間）で始まりましたが、実用は北陸本線で

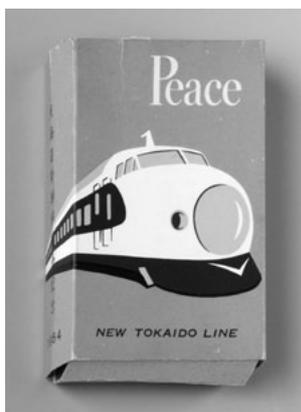
花開き、東海道新幹線へ引き継がれていきました。新幹線にとって北陸本線は、いわば欠くことのできない存在であったのです。

今回、大鉄道展では、北陸本線の歴史や生活文化を紹介するとともに、世界に誇る我が国独自の新幹線システムの魅力を余すことなく、親・子・孫など三世代にわたって、多くの皆様に広く知っていただく最良の場とするものです。

2、展示のみどころは？

①新幹線とデザイン

北陸新幹線車両の「かがやき」については、そのデザインの優美さが話題となりましたが、「車両デザイン」という言葉が初めて用いられたのは、東海道新幹線0系電車からでした。当時発売された開業記念タバコのパッケージからは、東海道新幹線のデザインが広く歓迎されたことがうかがえます。また、開業記念のマッチには、高速で走行する新幹線の「残像」がデザインされており、大変興味深いものです。



東海道新幹線開業記念タバコ「ピース」(昭和39年) 米山淳一氏所蔵。

②星晃コーナー

富山県出身で、0系新幹線など数多くの車両を設計した星晃氏の仕事をパネルなどで紹介するコーナー。0系新幹線は、星氏によると「贅沢ではない車両」でした。いわば、より安全、スピーディーにお客様を運ぶことをコンセプトとしていました。ただ、車内設備

に関して格段に改善された点がありました。それは、「トイレ」です。設計に携わった星氏も一番苦労したのは「トイレ」と言っていたとのこと。新幹線では、従来の垂れ流しではなく、「タンク式」を採用しているのが最大の特徴だからです。もし、時速二百kmを超える高速で垂れ流したらどうなるか。ご想像にお任せしますが、沿線からの苦情殺

到で即、運行中止になるのは事実であったでしょう。当時の欧米各国で運行されていた列車でも、トイレはまだ垂れ流しが主流でした。新幹線のタンク式トイレがいかに画期的な発明であったかがうかがえるエピソードです。

展示には、新幹線の歴史以外にも、現在は廃線となった県内私鉄路線のなつかしの資料を展示したコーナーもあります。

3、楽しい体験イベントは？

展示以外にも、さまざまなイベントがあります。五インチのレールの上を、してトロッコ(手まわしトロッコ)に乗って、自分の手でハンドルをまわして走ってみるものです。日曜日限定で、中庭にて乗車体験ができます。また、駅員の制服を着て写真を撮るコーナーもありますので、ぜひ記念撮影をどうぞ。



写真イメージです
てトロッコ乗車体験



星晃コーナー

Topics



*結婚式の前撮りは、閉館後に行われました。

リニューアルイヤードからでしょうか…?

四月十七日のリニューアルオープン以来、テレビや新聞などさまざまなメディアで取り上げられ、例年の約二倍、七月一日現在で五万人を越える皆様にご来館いただきました！少し意外だったのが、ここ最近、博物館での企業の

テレビCMの撮影、結婚式の前撮りなどの依頼が多いことです。リニューアルして内装も外装もピカピカの赤レンガ建物での記念撮影。これからも、こうして皆様に親しみを持って利用していただきたいですね。

展示室から

能登の塩作り模型

この模型は、郷土資料館から歴史博物館になる一九八六（昭和六十一）年に制作したものです。今回のリニューアルでは近世の村の展示の中心として再生させました。CGや映像を駆使した動きのある展示が多い中、着色していないホワイト模型ですが、人の姿や表情、塩釜のあ



る小屋の板壁、塩田の廻縁など、三十年前の職人の技術力は今でも輝いて見えます。

Information

行事予定

7月23日(木)	古文書講座(前期3回のうち第1回) 「藩船威徳丸出帆 ―「加藤家文書」より」 (資料課長 濱岡伸也)
7月24日(金)	学芸員によるワンポイント解説 「古代のお触書と農民の暮らし」(学芸主任 三浦俊明)
8月15日(土)	れきはくゼミナール 「廻船問屋と日本海」(資料課長 濱岡伸也)
8月21日(金)	学芸員によるワンポイント解説 「揚浜塩田の塩作り」(学芸主幹 戸潤幹夫)
9月5日(土)	れきはくゼミナール 「お太子さまが現れた―心霊出現騒動記―」 (学芸課長 大門哲)

- ◆開講時間 13時30分
- ◆会場 れきはくゼミナール・古文書講座：ワークシヨップルーム
学芸員によるワンポイント解説：展示室ほか
- ◆受講料 無料(第1棟展示室での解説は観覧料が必要です)

☆れきはくゼミナール(約90分程度) *事前申込不要
当館学芸員が石川の歴史や文化に関する話題について、毎回テーマを変えてお話しします。
☆学芸員によるワンポイント解説(約30分程度) *事前申込不要
当館学芸員が博物館の見どころをわかりやすく解説します。
☆古文書講座(前期・後期各3回、定員40名)
当館学芸員が古文書の読み方や内容をわかりやすく解説します。
*前期分の申込受付は終了しました。後期分の受講生は別途募集します。

お知らせ

サマーミュージアムウィーク 7月31日(金)～8月9日(日)

8月3日(月)	常設展無料入館日
8月6日(木)	ワークシヨップ日本最古のお金「富本銭」をつくろう！ ①10時②10時30分③11時④14時⑤14時30分⑥15時 ※参加無料/定員各回6名/要申込/電話で受付中/先着順
8月7日(金)・8日(土)	イベント開催に伴う夜間延長開館(21時まで)

*詳しくは「兼六園周辺文化の森」のホームページをご覧ください

歴史体験ひろば

「歴史体験ひろば」では、直接さわって歴史を体験できるメニューをこれまで以上に用意し、メニューの更新も随時おこなっています。来館された方から「本当に触わっていいの?」とよく聞かれますが、実際に触れる本物の資料の中にはあります。「昔の学校」コーナーでは懐かしい木の机や椅子で昔の教科書を見たり、靴を脱いであがれる「いろり」コーナーもあります。一番人気の「へんしんクローゼット」では、着てみたい歴史衣装とスクリーン背景を選び記念写真を撮ることができ、新たに十二単と利家の甲冑(子どもサイズ)が加わりました。休日には、係が汗をかきながら着付けをしていた十二単はしばらくお休みし、離れ祭りが近づいた頃に再登場します。

なお、体験ひろばの期間限定メニューなどについては、リニューアルされたホームページでご確認ください。「いしかわれきはく」で検索できます。



展覧会予告

リニューアルオープン記念・大韓民国国立全州博物館姉妹館交流25周年記念

秋季特別展

「朝鮮王朝—宴と儀礼の世界—」

9月13日(日)～11月8日(日) 会期中無休

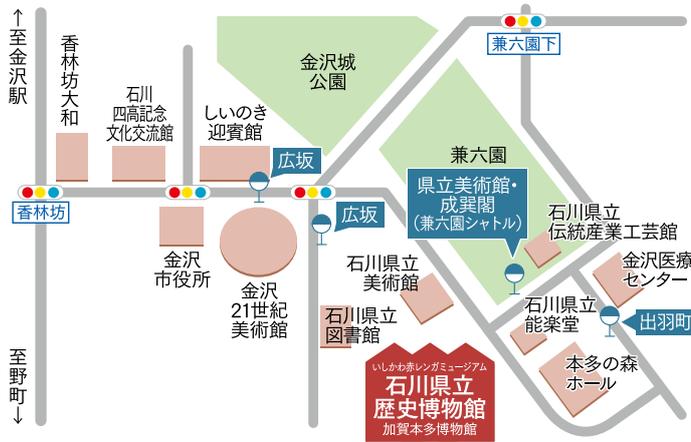
リニューアルを記念して開催される姉妹館交流展のテーマは「朝鮮王朝」。日本でも歴史ドラマや映画でおなじみの朝鮮時代について、宮廷における荘厳な儀礼と、華やかな宴の世界を中心に紹介します。今回、韓国の国立博物館から約百点の文化財が出品されますが、王の権威を象徴する「日月五峰図屏風」や、世界でも比類なき儀式記録である「儀軌」など、その大部分が日本初公開。朝鮮王朝の真髄にふれる、またとない機会です。どうぞご期待ください。



戊申年進饌図屏風(昌徳宮での宴の様子) 韓国国立中央博物館蔵



第21代王・英祖の玉寶(印章) 韓国国立古宮博物館蔵



いしかわ赤レンガミュージアム
石川県立歴史博物館
ISHIKAWA PREFECTURAL MUSEUM OF HISTORY

〒920-0963 石川県金沢市出羽町3-1
TEL: 076-262-3236 FAX: 076-262-1836
E-mail: rekihaku@pref.ishikawa.lg.jp
http://ishikawa-rekihaku.jp/

片山津温泉 加賀観光ホテル

22種のお風呂

最大級の湯量と

片山津温泉

旬の日本海の海の幸や 加賀野菜もお楽しみ下さい

加賀観光ホテル予約センター 受付時間 9時～20時

Tel. 0761-74-1101

〒922-0412 石川県加賀市片山津温泉ウ41 http://www.kagakankoh-hotel.co.jp/